

平成 16 年度 春学期

授業科目区分	科目名	科目コード	単位数	主たる開講時期
	こころとはたらき	0017-01	2	

キーワード	授業の主題
1. 心理学の歴史および方法論 2. 認知心理学と学習心理学 3. 性格心理学と社会心理学 4. 臨床心理学	心理学は、心を科学的に探求する学問である。本科目の目的は、心理学を通じて人間行動の法則性を体験的に学び、人間観を科学的な観点から涵養し、「行動する技術者」としての資質を向上させることにある。心理学は、教育、サービス業、製造業など種々の分野に応用されている。将来、「行動する技術者」として社会に貢献すべき本学学生にとって、心理学を通して人間行動を理解することの意義は大きい。また、心理的ストレスは生活上重要な話題である。本科目を学習することにより、自らの心理的ストレスについての理解を促す。

授業の概要
<p>講義では、それぞれのセクション(心理学の歴史および方法論、認知心理学、学習心理学、性格心理学、社会心理学、臨床心理学)についての基礎概念や基礎用語の説明が行われる。また、それぞれの心理学領域の視点から、人間の行動がどのように理解されるかを概説する。そして、講義内容についての知識や理解を確認するために小テストおよび臨時テストを行う。</p> <p>臨床心理学のセクションでは、特に心理的ストレスに焦点を当て、その基礎概念と、対人ストレスへの対処法(ストレス・マネジメント)についての説明が行なわれる。また、その講義内容を元に、効果的なストレス対処法を受講生が実際に試みることも求められる。</p>

学生の行動目標
<p>心理学における基礎概念および基礎用語を文章で説明することができる</p> <p>スムーズなコミュニケーションのために、対人ストレスの対処法を理解し、それを試みた結果を文章で説明することができる</p> <p>自他の行動を把握できる技術者となるために、心理学の視点から人間行動を理解し、その理解を文章で説明することができる</p> <p>本科目の行動目標と人文社会科学教育コアの学習・教育目標の達成度について自己評価を</p>

することができる

評価の方法		評価の要点
小テスト	30%	<p>小テストは3回を予定している。小テストの内訳は、認知心理学の知覚(第2~4回の講義内容)に関するもの、認知心理学の記憶(第5、6回の講義内容)に関するもの、社会心理学(第13、14回の講義内容)に関するもの、の3回である(各10%)。レポートでは臨床心理学(第15、16回の講義内容)に関するものを予定している(10%)。臨時試験は、学習心理学(第8、9回の講義内容)と性格心理学(第10、11回の講義内容)に関するものを予定している(20%)。定期試験では、講義全体を通して習得した心理学の基本概念、基礎用語、人間理解の方法についての知識と理解を問う(30%)。</p> <p>学習態度は、講義への積極的参加および欠席回数で評価を行う(10%)。</p>
レポート	10%	
臨時試験	20%	
定期試験	30%	
学習態度	10%	
計	100%	

テキスト、教材、参考図書など	その他、履修上の注意事項や学習上の助言など
<p>教科書:梅本堯夫・大山正・岡本浩一 1999 コンパクト新心理学ライブラリ 1 心理学ー心のはたらきを知るーサイエンス社 定価 1,350 円</p> <p>参考図書:内山喜久雄 1985 ストレスコントロール 講談社現代新書 定価 660 円</p>	<p>液晶プロジェクタおよび OHP を主として使用した講義を行なう。</p> <p>講義は学生と教員との共同作業である。学生諸君には積極的に講義に参加していただきたい。また、質問の際はオフィスアワーを積極的に利用していただきたい。</p>

### 授業明細

回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題 予習・復習	時間
1 回	科目ガイダンス 心理学に対するイメージを問うアンケート調査に記入する。その後、配布するシラバ	アンケート調査 パワーポイント・OHP による講義と質疑応答を行う。	(予習)心理学に対してどのようなイメージを持っているか明確にしておく。 (復習)シラバスを見直	1.0 1.0

	<p>スを基に、科目の概要や授業目標および成績評価の方法を理解する。</p>		<p>し、本講義の受講方法を再確認する。</p>	
2回	<p><b>心理学の歴史および方法論</b> 心理学の歴史を辿り、その変遷を知る。 心理学の対象とその分析方法を知る。</p>	<p>パワーポイント・OHPによる講義と質疑応答を行う。</p>	<p>(予習)教科書の該当する箇所を精読し、疑問点を明確にしておく。 (復習)講義内容を見直し、知識を確認しておく。</p>	<p>1.0 1.0</p>
3回	<p><b>認知心理学(知覚 1)</b> 人間がどのように環境を知覚(見たり、聴いたり)しているか、特に知覚と物理的環境とのズレについて理解する。</p>	<p>パワーポイント・OHPによる講義と質疑応答を行う。</p>	<p>(予習)教科書の該当する箇所を精読し、疑問点を明確にしておく。自らの生活を振り返り、人がどのように環境を知覚しているか考えてくる。 (復習)講義内容を見直し、知識を確認しておく。</p>	<p>1.0 1.0</p>
4回	<p><b>認知心理学(知覚 2)</b> 人の知覚過程の情報処理的な考え方を知る。</p>	<p>パワーポイント・OHPによる講義と質疑応答を行う。</p>	<p>(予習)教科書の該当する箇所を精読し、疑問点を明確にしておく。 (復習)講義内容を見直し、知識を確認しておく。</p>	<p>1.0 1.0</p>
5回	<p><b>小テストと認知心理学(記憶 1)</b> 第2回～4回までの講義内容について小テストを行い、講義で学んだ知識の習得度を確認する。 人の記憶過程の情報処理的な考え方を、簡単な実験を通して理解する。特に作業記憶と短期記憶の特徴について知る。</p>	<p>小テストを行う。 パワーポイント・OHPによる講義、簡単な実験、質疑応答を行う。</p>	<p>(予習)第2回～4回までの講義内容を復習する。 (予習)教科書の該当する箇所を精読し、疑問点を明確にしておく。自らの生活を振り返り、人がどのように物事を記憶しているかを考えてくる。 (復習)講義内容を見直し、知識を確認しておく。</p>	<p>2.0 1.0 1.0</p>
6回	<p><b>認知心理学(記憶 2)</b> 人の記憶過程の情報処理的</p>	<p>パワーポイント・OHPによる講義、簡単な実験、質</p>	<p>(予習)教科書の該当する箇所を精読し、疑問点</p>	<p>1.0 1.0</p>

	な考え方を、簡単な実験を通して理解する。特に作動記憶と長期記憶の特徴について知る。また、記憶を増強する方法(記憶術)について知る。	疑応答を行う。	を明確にしておく。 (復習)講義内容を見直し、知識を確認しておく。	
7回	<b>まとめと小テスト</b> 認知心理学のセクションの講義内容を振り返り、疑問点を明らかにする。 第5回と6回の講義内容について小テストを行い、講義で学んだ知識の習得度を確認する。	パワーポイント・OHPによる講義と質疑応答を行う。 小テストを行う。	(予習)5回、6回の講義内容を復習し、疑問や質問を考えておく。 (復習)講義内容を見直し、知識を確認しておく。	2.0 1.0
8回	<b>学習心理学 1</b> 代表的な学習理論を学び、行動変容の仕組みを理解する。	パワーポイント・OHPによる講義と質疑応答を行う。	(予習)教科書の該当する箇所を精読し、疑問点を明確にしておく。 (復習)講義内容を見直し、知識を確認しておく。	1.0 1.0
9回	<b>学習心理学 2</b> 行動を始動させる様々な動機づけの仕組みを学び、理解する。	パワーポイント・OHPによる講義と質疑応答を行う。	(予習)教科書の該当する箇所を精読し、疑問点を明確にしておく。 (復習)講義内容を見直し、自らの動機づけの仕組みについて特徴をまとめておく。	1.0 1.0
10回	<b>性格心理学 1</b> 個人差について知る。代表的な性格理論について知る。特に、各性格理論の長所ならびに短所について理解する。	パワーポイント・OHP、必要に応じて配付資料による講義と質疑応答を行う。	(予習)教科書の該当する箇所を精読し、疑問点を明確にしておく。個性とは何かについて自分なりの考えをまとめておく。 (復習)講義内容を見直し、知識を確認しておく。	1.0 1.0
11回	<b>性格心理学 2</b>	パワーポイント・OHP、必	(予習)教科書の該当す	1.0

	個人差の形成や変化について知る。性格がどのように形成されていくのか理解する。	要に応じて配付資料による講義と質疑応答を行う。	る箇所を精読し、疑問点を明確にしておく。性格がどのように形成されるのか自分や周囲の人からの経験を交えて考えをまとめておく。 (復習)講義内容を見直し、知識を確認しておく。	1.0
12回	<b>臨時テスト</b> 第8～11回までの講義内容について試験を行い、知識習得の確認をする。	講義に関する質疑応答を行い、試験を実施する。	(予習)第8～11回までの講義内容を見直し、知識を確認しておく。	3.0
13回	<b>社会心理学 1</b> 社会と個人の間には生じる関係のあり方について知る。 個人がどのように社会と相互作用を持つのかを知る。	パワーポイント・OHP、必要に応じて配付資料による講義と質疑応答を行う。	(予習)教科書の該当する箇所を精読し、疑問点を明確にしておく。自分が社会とどのように関わっているのか経験を交えて考えをまとめておく。 (復習)講義内容を見直し、知識を確認しておく。	1.0 1.0
14回	<b>社会心理学 2</b> 個人と個人の間には生じる関係のあり方について知る。 個人が他者とどのように相互作用するのかを知る。	パワーポイント・OHP、必要に応じて配付資料による講義と質疑応答を行う。	(予習)教科書の該当する箇所を精読し、疑問点を明確にしておく。自分が他人とどのように関わっているのか経験を交えて考えをまとめておく。 (復習)講義内容を見直し、知識を確認しておく。	1.0 1.0
15回	<b>小テストと臨床心理学 1</b> 第13回と14回の講義内容について小テストを行い、講義で学んだ知識の習得度を	小テストを行う。 パワーポイント・OHPによる講義と質疑応答を行う。	(予習)第13回～14回までの講義内容を確認しておく。 (予習)配布資料を讀ん	2.0 1.0 1.0

	確認する。 ストレス概念の変遷を知り、 生理学的レベルのストレス反 応への対処法を学び、理解 する。		で おく。 (復習)講義内容を見直 し、知識を確認しておく。	
16 回	<b>臨床心理学 2</b> 人間の行動や思考とストレス との関係、およびその対処法 を学び、理解する。	パワーポイント・OHP によ る講義と質疑応答を行う。	(予習)配布資料を読ん で おく。 (復習)講義内容を見直 し、自らのストレス内容へ の対処法をまとめておく。	1.0 1.0
17 回	<b>まとめ</b> 臨床心理学のセクションの講 義内容を振り返り、疑問点を 明らかにする。	パワーポイント・OHP によ る講義と質疑応答を行う。	(予習)第15 回～16 回ま での講義内容を確認して おく。	2.0
18 回	<b>講義全体のまとめと質疑応 答</b> 講義全体について質疑応答 を行い、定期試験に備える。	講義全体のまとめと、講 義に関する質疑応答を行 う。	(予習)講義全体内容を 見直し、疑問点を明らか にしておく。 (予習)臨床心理学のセク ションに関するレポートを 完成させ、提出する。	1.0 2.0
	<b>定期試験</b> 講義全体の内容について試 験を受け、理解の程度を確 認する。	定期試験を実施する。	(予習)全講義を振り返 り、基礎用語・基礎概念 などの復習を行っておく。	3.0
19 回	<b>自己点検授業 1</b> 定期試験の解答を知り、自 分自身の達成度を知る。	定期試験の解答を開示 し、自点検させる。質疑応 答を行う。	(予習)定期試験を受け て、知識や理解が不十分 であったと思われた部分 を確認しておく。	1.0
20 回	<b>自己点検授業 2</b> 講義全般および成績評価に 関する議論を行う。	講義全体の疑問点に対し て質疑応答を行う。また 成績評価に疑問のあるも のに対しては、個別面談 を行う。	(予習)自分の成績評価 を振り返り、疑問点を明ら かにしておく。	1.0